

令和6年2月8日

けんきゅう きょうりょく ねが みなさま
研究への協力をお願いする皆様へ

東京女子医科大学

輸血・細胞プロセッシング部 菅野 仁

いでんしかいせきけんきゅう きょうりょく ねが
「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」への協力をお願い

いでんしかいせきけんきゅう きょうりょく
《ヒトゲノム・遺伝子解析研究への協力について》

「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」は、病気に関連する遺伝子を調べ、病気の発症や薬の効き目の違いに関係があるかもしれない遺伝子を探して、その構造や機能を詳しく調べる研究です。これによって、病気の診断や将来的には予防法、治療法の開発などに役立つと考えられています。

ここでは、まず研究について理解していただくための説明をします。説明を十分に理解し、研究に協力して血液等の試料を提供しても良いと考えられた場合には、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究への協力についての同意書」に署名をお願いします。

いでんし
《遺伝子とは》

「遺伝」とは、親の体質がその子供に伝わることを言います。体質には、顔かたちや体つきのほか、病気への罹りやすさなどが含まれます。この「遺伝」を担っている物質が「遺伝子」で、その本体はDNAです。DNAは、A、T、G、Cという4種類の塩基からなり、数万種類の遺伝子を構成しています。遺伝子は、私たちヒトのからだの設計図にあたりますが、この遺伝子を総称して「ゲノム」と呼んでいます。

いでんし びょうき
《遺伝子と病気》

その人の生まれながらの体質（遺伝素因）が病気の発症に強く影響しているものは、遺伝病と言います。しかし、ほとんどの病気は、体質（遺伝素因）に加えて、病原体や生活習慣などの影響（環境因子）が複数組合わさって発症する多因子疾患です。代表的な多因子疾患として、

とうによびょう がん
糖尿病やほとんどの癌があります。

けんきゅう きょうりょく かんが
《研究に協力するかどうかを考えるために》

けんきゅう きょうりょく じゅう き くだ とちゅう けんきゅう きょうりょく と や
(1) 研究に協力するかどうかはあなたが自由に決めて下さい。途中で研究への協力を取り止
めることもできます

けんきゅう きょうりょく じゅう い し き けんきゅうきょうりょく どう い
研究に協力するかどうかは、あなたの自由意志で決めてください。また、いったん研究協力に同意
された場合でも、途中で研究への協力を取り止めることができますので、担当者にご連絡下さい。
ば あい とちゅう けんきゅう きょうりょく と や たんとうしゃ れんらくく
その場合、採取した血液や遺伝子解析の結果などは廃棄され、それ以降は診療記録も研究の
ば あい さいしゅ けつえき い でん し かいせき けっか はい き いこう しんりょうきろく けんきゅう
ために用いられることはありません。ただし、どれが誰のものか判らないように匿名化されている場合
もち だれ わか とくめいか ば あい
には、廃棄することができません。また、すでに研究結果が論文などで公表されている場合などは、
はい き けんきゅうけっか ろんぶん こうひょう ば あい
その結果を廃棄できないことがあります。

けんきゅう きょうりょく ば あい いっぱん かんじゃ どうよう いりょう う
(2) 研究に協力しない場合でも、一般の患者さんと同様の医療が受けられます
けんきゅう きょうりょく どうきょうじょし い か だいがく いりょうしせつ いっぱん かんじゃ
研究に協力してもしなくても、東京女子医科大学の医療施設では、あなたに一般の患者さんと
どうよう いりょう ていきょう きょうりょく さべつてき あつかい う けつ
同様の医療を提供します。協力しないことによって、あなたが差別的な扱いを受けることは決してあ
りません。

けんきゅう じっしけいかく い か とお
(3) この研究の実施計画は、以下の通りです
せんてんせいようけつせいひんけつかんれん い でん し
● 研究課題名：先天性溶血性貧血関連遺伝子の Target Capture Sequencing による
かいせきけんきゅう
解析研究

- けんきゅうきかんめい どうきょうじょし い か だいがく
● 研究機関名：東京女子医科大学
- けんきゅうせきにしやしめい しょくめい かの ひとし とくにんきょうじゅ ゆけつ さいぼう か
● 研究責任者氏名および職名：菅野 仁・特任教授（輸血・細胞プロセッシング科）
- けんきゅうぶんたんしやしめい しょくめい おぐら ひろみ ひじょうきんこうし ゆけつ さいぼう か
● 研究分担者氏名および職名：小倉 浩美・非常勤講師（輸血・細胞プロセッシング科）
- やまもと けいこ じょきょう ゆけつ さいぼう か
山本 圭子・助教（輸血・細胞プロセッシング科）
- あおき たかこ りんしやうけんさぎし ゆけつ さいぼう ぶ
青木 貴子・臨床検査技師（輸血・細胞プロセッシング部）
- やまもと としゆき きょうじゅ しんりょうか
山本 俊至・教授（ゲノム診療科）
- うつざさわ たいじゅ じゆんきょうじゅ ゆけつ さいぼう か
槍澤 大樹・准教授（輸血・細胞プロセッシング科）

あかがわ ひろゆき じゆんきようじゆ どうごう い か がくけんきゆうじよ
赤川 浩之・准教授 (統合医科学研究所)

けんきゆう もくてき い ぎ ひつようせい
●研究の目的と意義および必要性：

もくてき ようけつせいひんけつ せつけつきゆう じゆみよう みじか びようき つうじよう けつえきけんさ しんだん
目的：溶血性貧血とは赤血球の寿命が短くなる病気です。通常の血液検査では診断できな
ばあい いでんしけんさ おこな しんだん かくてい ほんけんきゆう ようけつせいひんけつ げんいん
った場合に遺伝子検査を行うことで診断が確定します。本研究では、溶血性貧血の原因
いでんし じせだい いでんし いじよう どうてい ようけつせい
遺伝子を target capture し、次世代シーケンスすることで遺伝子異常を同定し、溶血性
ひんけつ びょういん びょうたい あき もくてき
貧血の病因・病態を明らかにすることを目的としています。

い ぎ つうじよう けつえきけんさ しんだん しょうれい ひんかいゆけつ いでんしけんさ しんだん
意義：通常の血液検査で診断のつかない症例や、頻回輸血のより遺伝子検査でのみ診断する
ほうほう な ばあい いでんし おお ばあい じせだい ゆうよう
方法が無い場合、遺伝子が大きい場合に次世代シーケンスは有用です。
ようけつせいひんけつ に しっかん かんべつ かのう ほうほう かくていしんだん
また、溶血性貧血に似た疾患との鑑別も可能であり、この方法により確定診断することは
かんじゃさま せいかつ しつ こうじよう つな
患者様の生活の質の向上にも繋がります。

けんきゆう ほうほう
●研究の方法：

たいしよう しっかんめい せんてんせいやうけつせいひんけつ
-対象とする疾患名：先天性溶血性貧血

かいせき いでんし いでんしぐん めいしやう
-解析する遺伝子あるいは遺伝子群の名称：表 1 参照

かいせき しりよう じょうほう けつえき さいけつ りんしやうけんさ
-解析する試料・情報：血液(EDTA採血2～5mL)、臨床検査データ

表 1.

| | | | | | | | |
|----|--------|----|----------|----|----------|----|--------|
| 1 | ADA | 18 | EPB42 | 35 | SEC23B | 52 | CFB |
| 2 | ALDOA | 19 | SLC4A1 | 36 | KIF23 | 53 | THBD |
| 3 | AK1 | 20 | SPTA1 | 37 | KLF1 | 54 | CFHR2 |
| 4 | ENO1 | 21 | SPTB | 38 | ATP11C | 55 | CFHR4 |
| 5 | G6PD | 22 | ANK1 | 39 | COL4A1 | 56 | CFHR5 |
| 6 | GPI | 23 | GYPC | 40 | GATA1 | 57 | DGKE |
| 7 | GPX1 | 24 | EPB41 | 41 | PIGA | 58 | PLG |
| 8 | GSR | 25 | STOM | 42 | UGT1A1 | 59 | ULK1 |
| 9 | GSS | 26 | RHAG | 43 | ATP7A | 60 | BECN1 |
| 10 | GCLC | 27 | SLC2A1 | 44 | ATP7B | 61 | PIK3C3 |
| 11 | HK1 | 28 | PIEZO1 | 45 | ADAMTS13 | 62 | AMBRA1 |
| 12 | NT5C3A | 29 | KCNN4 | 46 | C3 | 63 | PRKAA1 |
| 13 | PFKM | 30 | ABCG5 | 47 | CD46 | 64 | ATG9A |
| 14 | PGD | 31 | ABCB6 | 48 | CFH | 65 | TBC1D5 |
| 15 | PGK1 | 32 | ABCG8 | 49 | CFI | 66 | BNIP3L |
| 16 | PKLR | 33 | CDAN1 | 50 | CFHR1 | 67 | BNIP3 |
| 17 | TPI1 | 34 | C15orf41 | 51 | CFHR3 | 68 | FUNDC1 |

かいせきほうほう

-解析方法:

- ① 対象となる患者の末梢血単核球からゲノムDNAを調製する。
- ② Target Capture後、次世代シーケンシングによる解析、必要に応じてアレイCGHや定量PCR法によるコピー数多型(CNV)解析を行う。
- ③ Target Captureによる次世代シーケンシング解析、アレイCGH、定量PCR法で同定された遺伝子異常の確認をするためダイレクトシーケンシングにより直接塩基配列を解析する。
- ④ 次世代シーケンスは匿名化した上で以下の会社に委託する。

かぶしきがいしゃ
株式会社 マクロジェンジャパン

けんきゅうきかん いいんかいしようにんび ねんがつにち
-研究期間: 委員会承認日～2025年3月31日まで

しりょう ほぞんほうほう じょうたい ほかん
-試料の保存方法: DNAの状態での-80℃保管

しりょう ほぞんきかん ねんがつにち
-試料の保存期間: 2030年3月31日まで

きょうどうけんきゅうきかんとく きかんめい けんきゅうせきにしやしめい しよぞく
-共同研究機関等 (機関名・研究責任者氏名・所属)

きゅうしゅうだいがくびょういん しょうにか おおが しょういち
九州大学病院 小児科 大賀 正一

ひろさきだいがくびょういん しょうにか いたう えつろう
弘前大学病院 小児科 伊藤 悦朗

アセント文書(10歳以上～18歳未満)

おおさかいちりつそうごういりょう けつえきないか やまね たかひさ
大阪市立総合医療センター 血液内科 山根 孝久

なかの びょういん しょうにか こうでら うらら
中野こども病院 小児科 圀府寺 美

さいたまい かだいがくびょういん しょうにか やまざき たろう
埼玉医科大学病院 小児科 山崎 太郎

ちばだいがくびょういん しょうにか ひの こ
千葉大学病院 小児科 日野もえ子

さがけんいりょう こうせいがん しょうにか うらしま まゆみ
佐賀県医療センター好生館 小児科 浦島 真由美

しずおかさいせいかいそうごうびょういん しょうにか しおた つとむ
静岡済生会総合病院 小児科 塩田 勉

つくばだいがくふぞくびょういん しょうにか みやその やよい
筑波大学附属病院 小児科 宮園 弥生

しずおかけんりつ びょういん けつえきしゅようか ほりこし やすお
静岡県立こども病院 血液腫瘍科 堀越 泰雄

かがわだいがくいがくぶふぞくびょういん しょうにか いわせ たかし
香川大学医学部附属病院 小児科 岩瀬 孝志

ながらいりょう しょうにか たてばやし こうじ
長良医療センター 小児科 館林 宏治

かわさきい かだいがくふぞくびょういん けつえきないか ひろせ ただし
川崎医科大学附属病院 血液内科 廣瀬 匡

ひょうごけんりつ びょういん けつえき しゅようないか こさか よしゆき
兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科 小阪 嘉之

せいいくいりょうけんきゆうせんたー しょうにか せんたー けつえきないか いしくろ あきら
成育医療研究センター 小児がんセンター血液内科 石黒 精

こくりつこくさいいりょうけんきゆう びょういん しょうにか やまなか じゅんこ
国立国際医療研究センター病院 小児科 山中 純子

さいたまけんりつしょうにいりょうせんたー けつえき しゅようか のぐち
埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科 野口 隼

ぎふけんそうごういりょうせんたー しょうにか まつなみ くにひろ
岐阜県総合医療センター 小児科 松波 邦洋

しずおかさいせいかいそうごうびょういん しょうにか おおた たつき
静岡済生会総合病院 小児科 太田 達樹

とらのもんびょういん ないぶんびつたいしゃか おおくぼ みのる
虎の門病院 内分泌代謝科 大久保 実

せんだいりょうせんたー しょうにか くまき さとる
仙台医療センター 小児科 久間木 悟

しずおかけんりつ びょういん しんけいなく おくむら よしのり
静岡県立こども病院 神経内科 奥村 良法

くろべしめんびょういん しょうにか なかつぼ ひきの
黒部市民病院 小児科 中坪 久乃

ほつかいどうりつこどもそうごういりょうりょういくせんたー けつえきしゅようか おだ たかのり
北海道立子ども総合医療・療育センター 血液腫瘍科 小田 孝憲

うじとくしゅうかいびょういん しょうにか しのづか じゅん
宇治徳洲会病院 小児科 篠塚 淳

にほんだいがくいがくぶふぞくいたばしびょういん しょうにか せいみや あやこ
日本大学医学部附属板橋病院 小児科 清宮 綾子

いしかわけんりつちゅうおうびょういん しょうにないか あらき らいた
石川県立中央病院 小児内科 荒木 来太

いちのみやいちりつしみんびょういん しょうにか おかむら じゅん
一宮市立市民病院 小児科 岡村 淳

なごやいちりつだいがくびょういん しょうにか ねめい みち
名古屋市立大学病院 小児科 亀井 美智

ならけんそうごういりょうせんたー りんしょうけんさぶ なかむら ふみひこ
奈良県総合医療センター 臨床検査部 中村 文彦

アセント文書(10歳以上～18歳未満)

あいちけんこうせいれんかいなんびょういん しょうにか はまだ みほ
愛知県厚生連海南病院 小児科 浜田 実邦

きょうとかつらびょういん けつえきないか もりぐち ひきのり
京都桂病院 血液内科 森口 寿徳

せいまりあんない かだいがくよこはましせいぶびょういん けつえきないか ますね せつ
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 血液内科 松縄 学

まつどいちりつそうごういりょうせんたー しょうにか さいとう ともやす
松戸市立総合医療センター 小児科 齋藤 友康

いずみおおついちりつびょういん しょうにか みやした りつこ
泉大津市立病院 小児科 宮下 律子

おみはちまんいちりつそうごういりょうせんたー けつえきないか あかまつ そのこ
近江八幡市立総合医療センター 血液内科 赤松 園子

とよはししみんびょういん しょうにか すずき ともこ
豊橋市民病院 小児科 鈴木 智子

いばらぎけんりつ びょういん そうごうしんりょうか くまぎ きあ
茨城県立こども病院 総合診療科 熊崎 香織

しぶや くりにつく しょうにか しぶや あつし
渋谷こどもクリニック 小児科 渋谷 温

かわぐちいちりつりょうせんたー しょうにか のむら としひろ
川口市立医療センター 小児科 野村 敏大

すずかかいせいびょういん ないか わたなべ やすゆき
鈴鹿回生病院 内科 渡邊 泰行

じゅんてんどうだいがくいがくぶふぞくびょういん しょうにか すずき きょうこ
順天堂大学医学部附属病院 小児科 鈴木 恭子

かがわだいがくいがくぶふぞくびょういん けつえきないか かどわき のりみつ
香川大学医学部附属病院 血液内科 門脇 則光

はまつい かだいがくいがくぶふぞくびょういん しょうにか さかぐち こうしょう
浜松医科大学医学部附属病院 小児科 坂口 公祥

ひろきだいがくいがくぶふぞくびょういん しょうにか さとう ともひこ
弘前大学医学部附属病院 小児科 佐藤 知彦

きょうとだいいちせきじゅうじびょういん しょうにか こんどう ひでひと
京都第一赤十字病院 小児科 近藤 秀仁

せいまりあんない かだいがくよこはましせいぶびょういん しょうにか やましたあつき
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 小児科 山下敦己

とくしまけんりつちゅうおうびょういん しょうにか ふじおかけいすけ
徳島県立中央病院 小児科 藤岡啓介

いちりつよっかいちびょういん しょうにか すずきかずたか
市立四日市病院 小児科 鈴木和貴

よこはまいちりつ せきじゅうじ けつえきないか ばんどう かな
横浜市立みなと赤十字病院 血液内科 坂東夏菜

かながわけんりつ いりょうせんたー けつえき しゅようか やなぎまちまさかつ
神奈川県立こども医療センター 血液・腫瘍科 柳町昌克

せんだいいりょうせんたー けつえきないか いずみ とおる
仙台医療センター 血液内科 和泉 透

しがいかだいがくいがくぶふぞくびょういん しょうにか つついでみ
滋賀医科大学医学部附属病院 小児科 筒井英美

ぎふけんそうごういりょうせんたー しんせいじないか くわはらゆうや
岐阜県総合医療センター 新生児内科 桑原祐也

きょうとだいがくいがくぶふぞくびょういん けつえきないか みずもとちさき
京都大学医学部附属病院 血液内科 水本智咲

いたばしくいしかいびょういん しょうにか わたなべなおき
板橋区医師会病院 小児科 渡邊直樹

ながきだいがくびょういん しょうにか ふなこしやすとも
長崎大学病院 小児科 船越康智

じちいかだいがくぶふぞくびょういん けつえきか もりたかおる
自治医科大学附属病院 血液科 森田薫

しこく いりょうせんたー しんせいじないか ただともようこ
 四国こどもとおとなの医療センター 新生児内科 只友蓉子

さいたまい か だいがくさいりょうせんたー そうけつきしゅうか あそうちえ
 埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 麻生智愛

やまなしけんりつちゅうおうびょういん そうごうしゅうさんきぼ しりょうせんたーしんせいじないか しのはらたまお
 山梨県立中央病院 総合周産期母子医療センター 新生児内科 篠原珠緒

こうりつふじおかそうごうびょういん けつえきないか とやまこうたろう
 公立藤岡総合病院 血液内科 外山耕太郎

きたのびょういん しょうにか おかもとそういちろう
 北野病院 小児科 岡本宗一郎

こくりつせいいくいりょうけんきゅうせんたー しょうに せんたー いぐちあきひろ
 国立成育医療研究センター 小児がんセンター 井口晶裕

きりゅうこうせいそうごうびょういん しょうにか まつのさき
 桐生厚生総合病院 小児科 松野早紀

こくりつびょういんきこうくまもとりょうせんたー しょうにか みぎたまさひろ
 国立病院機構熊本医療センター 小児科 右田昌宏

くろべしめんびょういん しょうにか にじまたかはる
 黒部市民病院 小児科 西島孝治

なご や だいいちせきじゅうじびょういん しょうにか もりしまひろし
 名古屋第一赤十字病院 小児科 森島宏

さいたまい か だいがくびょういん しょうにか くにかたてつや
 埼玉医科大学病院 小児科 國方徹也

ぬまづいちりつびょういん しょうにか ごひでとし
 沼津市立病院 小児科 呉英俊

しんこうきねんびょういん けつえきないか なかむらなおかず
 神鋼記念病院 血液内科 中村直和

あまくさちゅうおうそうごうびょういん けつえきないか みやけひろさだ
 天草中央総合病院 血液内科 宮家宏定

さいせいかいよこはましなんぶびょういん しょうにか かわかみけんどう
 済生会横浜市南部病院 小児科 川上兼堂

にほんい か だいがくふぞくびょういん しょうにか いたばしとしかず
 日本医科大学付属病院 小児科 板橋寿和

にいがた だいがくいしがくそうごうびょういん けつえき ないぶんびつたいしやないか すわべたつや
 新潟大学医歯学総合病院 血液・内分泌代謝内科 諏訪部達也

いわみさわいちりつそうごうびょういん しょうにか よしかわやすし
 岩見沢市立総合病院 小児科 吉川靖

すずかかいせいびょういん けつえきないか おかこうじ
 鈴鹿回生病院 血液内科 岡宏次

にっせきわかやまいりょうせんたー しょうにか さかべまさひこ
 日赤和歌山医療センター 小児科 坂部匡彦

かんさいい か だいがくびょういん しょうにか やまぞえたかし
 関西医科大学病院 小児科 山添敬史

とやまだいがくふぞくびょういん しょうにか はやしあつし
 富山大学附属病院 小児科 林篤志

とうほうだいがくいりょうせんたー さくらびょういん しょうにか とみゆうたろう
 東邦大学医療センター佐倉病院 小児科 富雄太郎

こうちだいがくいがくふぞくびょういん しょうにか もりしたゆうすけ
 高知大学医学部附属病院 小児科 森下祐介

ながおかせきじゅうじびょういん けつえきないか やのとしお
 長岡赤十字病院 血液内科 矢野敏雄

くまもとだいがくびょういん しょうにか くすのきしゅういちろう
 熊本大学病院 小児科 楠木翔一郎

おおつせきじゅうじびょういん しょうにか だいふともお
 大津赤十字病院 小児科 大封智雄

さか だいがくいがくふぞくびょういん しょうにか えぐちひろい
 佐賀大学医学部附属病院 小児科 江口啓意

日本医科大学武蔵小杉病院 小児科 早川潤

JCHO群馬中央病院 小児科 長谷川芽衣

福島県立医科大学病院 小児腫瘍内科 工藤新吾

西埼玉中央病院 小児科 飯倉克人

近江八幡市立総合医療センター 小児科 谷岡篤

九州大学病院 小児科 園田素史

住友病院 血液内科 紀田侑子

愛媛県立中央病院 新生児内科 依岡壮一郎

自治医科大学附属病院 小児科 嶋田明

徳島県立中央病院 小児科 大野卓也

倉敷中央病院 小児科 田坂佳資

－ 試料・情報を共同研究機関等に提供することについて： 情報（検査結果）を主治医に提供します

－ 研究終了後の試料の廃棄等：

提供を受けた試料・情報は研究終了後に廃棄します。ただし、現時点では、特定されない将来のヒトゲノム・遺伝子解析研究にも使用されることに同意して頂いた場合には、研究終了後も5年間残余試料を当該施設で保存します。なお、残余試料を、将来のヒトゲノム・遺伝子解析研究に使用する場合は、改めて同意をお願いするか、必要な手続きを行います。

以上の研究計画は、東京女子医科大学遺伝子解析研究に関する倫理審査委員会において審査を受け、既に承認されています。

●あなたが研究協力者として選ばれた理由：

溶血性貧血があり、遺伝子検査による確定診断を希望されたため。

遺伝子解析は、患者または代諾者より文書にて同意書を得られた症例についてのみ行う。

試料提供者が10歳以上の場合は本人からも同意を得る。10歳未満の場合も本人の理解をできるだけ取得する。

(4) 研究計画や研究方法についての詳しい資料を見ることができます

あなたが希望すれば研究計画書の詳しい内容を見ることができます。また、遺伝子を調べる方法等に関する資料が必要な場合にも説明をします。ただし、他の試料提供者の個人情報に関する部分や研究の独創性の確保に支障がでる場合には、見ることができない場合があります。

(5) 遺伝子解析によってあなたに生じる可能性のある利益および不利益について

あなたの病気の診断が臨床的にはっきりしている場合には、研究で遺伝子構造の違いが見つかる、見つからないということが、あなた自身の診断や治療を左右するわけではありません。ただし、病気の原因となる遺伝子構造が見つかった場合には、あなたの血縁者についても容易に調べられるようになり、その人達や子孫の健康管理に貢献できる可能性があります。その際、自分の病気のことを家族に説明しなければならないので、どう説明するか悩むなどの不愉快な思いをするかもしれません。

病気を起こす遺伝子構造が見つからなかった場合は、基本的には遺伝子を調べる前と同じ状況です。血縁者の方の遺伝子診断ができるのではないかと期待していた場合には、がっかりするでしょうが、病気を起こす遺伝子構造の違いが見つからなかったとしても、病気自体が遺伝性であることは否定できません。

あなたの病気の診断がまだはっきりしていない場合は、病気を起こす遺伝子構造が見つければ、診断がより確実になります。さらに、今後出てくる可能性のある症状を事前に知って、早期発見や予防的措置を行うことができる場合もあります。

遺伝病をもつ患者さんの血縁者の場合、その家系で病気の原因となっている遺伝子構造が判っていれば、多くの場合、発症前でもその遺伝子を受け継いでいるかどうかをほぼ確実に診断できます。受け継いでいないとわかれば、発病の不安から開放されますし、自分の子どもへ遺伝しないこともわかります。ただし、同様な病気になる可能性がゼロになったわけではなく、一般人と同じ程度には発病の可能性が残ります。原因遺伝子を受け継いでいた場合には、発病の可能性が予測でき、より積極的に病気の早期診断・予防的措置へ取り組むための心構えをすることができま

す。その一方で自分の将来が予測されるという意味では精神的な重圧を受ける可能性があります。

遺伝子解析の結果によっては、就職・結婚・保険への加入などに関して、現時点では予測できないような不利益が生じる可能性が無いとはいえません。たとえ病気になる不安から解放された場合でも家族との間に摩擦が生じたり、不安を感じたり、悩むことがあるかもしれません。そこで、当施設では、遺伝カウンセリング部門を整備しています（後述）。

(6) 個人情報外部に知られることはありません

個人情報を保護することは、刑法で定められた医療者の義務です。遺伝情報はそのなかでも特に厳重に管理されるべきものです。この研究では、遺伝子解析結果が他人に知られることが無いように取扱いを慎重に行います。

東京女子医科大学では、神経内科の北川一夫教授を「個人識別情報管理者」として認定し、厳重に個人情報を管理・保護しています。実際の管理業務は、個人識別情報管理者の下におかれた分担管理者が行います。この研究では、以下の者が分担管理者となります。

氏名：小林 博人

所属：輸血・細胞プロセッシング部

まず遺伝子解析を開始する前に、あなたの試料や診療情報から住所、氏名などが削除され、代わりに新しく符号が付けられます。（この操作を匿名化といいます）

匿名化にあたっては、あなたを容易に特定できない符号を設け、あなたとこの符号とを結び付ける対応表を作り、その対応表を個人識別情報管理者および分担管理者が厳重に保管します。こうすることによって、あなたの遺伝子の解析を行う者には符号しか分からず、誰の試料を解析しているのかは判りません。ただし、遺伝子解析結果をあなたに説明する場合には、対応表に照らし合わせてこの符号を元どおりに戻します。

(7) 遺伝子解析結果をあなたにお知らせすることについて

あなたの遺伝子解析結果については、希望に応じてあなただけ（場合により代理人）に知らせる

ことができます。解析結果を知りたい場合は、その旨を申し出て下さい。ただし、研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすような場合や研究期間を過ぎてからの申し出には、希望に添えないことがあります。

(8) 研究結果の公表

あなたの協力によって得られた研究の成果は、学会や学術雑誌およびデータベース等で公表されることがあります。その際は、個人が誰であるかわからないように匿名化した上で発表します。

(9) 知的財産権が生じたとき

遺伝子解析の成果として特許権などの知的財産権が生じる可能性があります。その権利は国、研究機関、民間企業を含む共同研究機関および研究遂行者などに属し、試料の提供者であるあなたには属しません。

(10) 遺伝子解析の費用について

遺伝子解析は自費検査となります。検査にかかる費用は9万円(税別)です。また、遺伝子解析の結果、新たな検査や治療が必要となった時には、一般の診療と同様に個人負担になります。

なお、血液などの試料提供に対して、謝礼を支払うことはありませんので、予めご了承下さい。

(11) 遺伝カウンセリングを受けることもできます

病気のことや遺伝子解析に関して不安に思い、相談したいことがある場合には、担当者に相談して下さい。研究についてより詳しい説明を行うと共に、希望に応じて遺伝カウンセリングを受けられるようにします。

(12) 問い合わせの窓口

この研究についての問い合わせは、下記までご連絡下さい。

住所：東京都新宿区河田町8-1

研究機関名：東京女子医科大学 輸血・細胞プロセッシング部

電話 : 03-3353-8111

F A X : 03-5269-7360

たんとうしゃしめい かの ひとし
担当者氏名 : 菅野 仁

E-mail : kanno.hitoshi@twmu.ac.jp